

SDGsと山田方谷

(学)順正学園 AI活用研究所
副所長 加賀山 茂



1. コロナ禍を招いた根本的な原因

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、世界中で甚大な被害が生じています。各国で様々な感染を縮小するための試みがなされていますが、未だに終息の見通しは立っていません。

この感染症のそもそもの原因は、持続的な開発を考慮しない人類の乱開発によって野生動物が追いつめられ、人類との距離が極端に縮小し、その際に野生動物(コウモリ)を宿主としていたウイルスが野生動物から人類へと移転し、最終的な共生(2〜3年後の感染症の終息)の過程で人類に甚大な危害を及ぼしていると考えられています。

したがって、新型コロナウイルス感染症ばかりでなく、今後も予想される野生動物起源の新型感染症に対する根本的な対策は、人類が現在行っている乱開発を中止し、野生動物と人類との住み

分けの秩序を回復することにあると考えなければなりません。

人類の持続的な発展を目指すSDGs(持続的開発目標)が新型コロナウイルス感染症の終息、および、今後の生活様式の羅針盤として注目されているのは、以上の理由に基づいています。

2. コロナ時代を生き抜くためのSDGsの17の目標

国連の加盟国193か国のすべての国が承認したSDGs(持続的開発目標)は、2030年までの達成目標として17の目標を掲げています。

この達成目標は、ガバナンスが3項目、人間に関する項目が6項目、経済に関する項目が6項目、地球環境に関する項目が3項目、平和に関する項目、パートナーシップに関する項目がそれぞれ1項目あつて、2030年までに実現するには並大抵の努力では足りないといわれています。ところが、このSDGsの17のすべての目標を今から160年以上も前の1856年に、すでに実現した人物がいました。それが、備中松山藩の偉人、山田方谷です。(つづく)

青年部だより

◆新年総会を開催

高梁商工会議所青年部(金石弘志会長)では、1月27日(水)19時30分から高梁商工会議所第一会議室において新年総会を開催しました。

当日は金石会長の挨拶の後、令和三年度の役員選出及び県青連出向者の選任が行われ、全会一致で承認されました。
新年度役員予定者は下記の通り(敬称略)

- ▽会長：山田洋一(千寿庵(株))▽直前会長：金石弘志(金石組)▽副会長：大河伸平(有)大河ガス)▽副会長：片岡伸介(松栄)▽副会長：川上龍太郎(川上商会)▽専務理事：小見山徹(株)小見山モーター
- ▽監事：中村宏史(中村豊工業(有))▽監事：中村雅則(甲子園観光(株))▽総務委員長：田中秀治(株)田中紙店)▽企画委員長：三村

高梁川流域未来人材育成事業を実施

高梁市立宇治高等学校

高梁商工会議所がコーディネーター(申請者)となり、高梁市立宇治高校と連携し、高梁川流域未来人材育成事業の採択を受け、「高校生キャリア実践講座」地産地消 もち麦コーヒーようかんの研究」を実施いたしました。

この事業は宇治地域の特産品であるもち麦を用いた食品の開発と商品化、販売実践をするために、宇治高校が宇治市民センター、(二社)宇治雑穀研究会等と連携を図りながら、地域貢献や活性化について考え活動を行いました。



図書館前三の丸テラスで販売

生徒は地域学習と講演会を通して、地域に貢献できるような工夫や販売者としてのマナーを意識

し、昨年10月には市図書館前(写真)とポルカでの販売を通して働くことの意味についても考えることができました。
また、同未来人材育成事業の成果発表会(12校)が1月31日に倉敷市で開催され、宇治高校は学内外での試食やアンケートを繰り返して商品開発や販売を実践した成果を発表いたしました。

議員の異動 (敬称略)

○中国電力ネットワーク(株) 高梁ネットワークセンター
所長 大 高 光 司
(落合町阿部)



敏通(有)ミムラ機械商事)▽広報委員長：山田雄介(有)弘栄工業(所)